

# 12/26(木)～ 耕知塾の 冬期講習

## ぼくたちはなぜ勉強するのか - 耕知塾の目指す授業 -

### 耕知塾の目指す授業とは

耕知塾では、実は「わかりやすい授業」を目指しているわけでは**ありません**。講師は理路整然としたエレガントな説明をして、生徒はただじっとそれを聞いている。確かに美しい光景です。映画やドラマならそれで良いのかもしれませんが、しかし、実際の勉強の場では生徒に観客でいてもらっては困ります。

では、どのような授業を目指しているのか。それは「できるようにする授業」です。耕知塾では、授業内での演習をとてとてとて大事にしています。人は自力で課題に取り組んだときに初めて達成感や充実感をおぼえます。その充実感を味わってもらうために、講師はメッセージを練りに練り上げ、伝えます。そして、生徒の皆さんには受け取ってもらったメッセージと自分の頭をフル稼働させて課題に取り組んでもらいます。頭が動いているかどうかは手の動きを見れば分かります。今日すぐにできなくてもいいのです。次の日、またその次の日。唸りながら挑戦し続ける。この体験こそが勉強の醍醐味ではないでしょうか。

### “あなたにピッタリ”の罠

生活しているとことある場面で“あなたにピッタリ”という売り文句を目にします。なんだかとてもよさそうです。しかし、この感覚は勉強に対しては**悪影響を及ぼします**。

最大の問題は“ピッタリ”の部分。無駄なく最低限の力で大きな結果を得たいという願望です。“これはあなたにピッタリ”。こんなこと本当に勉強の世界ではありえるのでしょうか？とてもそうは思えません。なぜなら「あ～でもない、こ～でもない」と試行錯誤する、その手順をしっかりと踏むことこそが勉強だと思うのです。漢字や計算など単純作業ばかりが勉強ではありません。どうやったら応用問題を克服できるか？それは、ただ問題を解けばよいのではなく基礎を積み重ね自分なりの方法を模索する

必要があるのです。ですので耕知塾ではあえて「教えすぎ」を封印しています。それこそが生徒にとって「真の勉強」になると信じているからです。そして、「結果だけ」にこだわることも要注意！やはり結果よりも過程を大事にして欲しいと思います。

### なぜ勉強するのか

生徒にこの質問をすると「いい学校に行くため」「将来のため」というパターンの答えが返ってきます。たまに、斜に構えた生徒からは「大人がそういうシステムにしたから」みたいな返答がきて、苦笑いを浮かべてしまいます。なぜ勉強しなければならないのか。その答えの一助となってくれそうな言葉を太宰治の著作から引用してこの文章を終わることにします。耕知塾としても大いに影響を受けた文章です。

「勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思う人もいる人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならぬ。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルキベートされるということなんだ。カルキベートというのは、公式や単語をたくさん暗記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真にカルキベートされた人間になれ！」 太宰治『正義と微笑』青空文庫より

文責 丹野 太朗

## 冬期講習のご案内

学年・クラス	期間	科目	受講費用
レギュラーコース 小4～6	【前期】 12/26～12/29	算数・国語(各50分)	17,000円
中1・中2	【後期】 1/4～1/7	英語・数学(各60分)	19,000円

●私立中受験コースは好評につき定員に達したため残念ながら募集いたしておりません。

●冬期講習から参加し1月以降も塾を継続する生徒は、1月が無料体験期間となり授業料は無料です。

●兄弟姉妹での受講は、お二人目より、受講費用が3割減になります。

●各学年の時間割、ご不明の点などは、お気軽にお問い合わせください。

●中3生の募集は終了いたしました。 ●1月7日(火)に学力診断テストを実施いたします。